

介護の人手不足 「低賃金が原因」 きよつから電話相談

県内の介護福祉施設など
で働く介護福祉士やホームパ
ーの平均約二十万三千円
で、全産業の労働者に比
べ十七万五千円低いこと
が、県医療介護福祉労組
連合会（県医労連）の労働
実態調査で分かった。
県医労連は「低賃金がど
が離職者の増加や介護
場の人手不足を招いてい
るとし、介護報酬の引
き上げなど国などに要
求する。
調査は昨年十一月に初
めて実施し、約五千八百
人のうち六百十五人が
回答した。

それによると、賃金は
ホームパーに限ると
さらに低く、十六万八千
円。パーの場合の平均
時間給は九百九十九円に
とどまるという。
約50%の人が介護など
の仕事に「辞めたい」と思
ったことがある」とし、
理由として「賃金が安
い」「仕事が忙しすぎ
る」「社会的評価が低
い」などを挙げた。夜勤
や当直が多く、約43%が
「健康が不安」とした。
県医労連は二十五日か
ら三日間の日程で、介護

2008年(平成20年) 3月25日(火曜日)

中 三

「労働相談一〇番」
電052(883)69
51を開設する。受け
付けは、いずれも午後二時
から七時まで。